

# 学校説明資料

[公開日] 2024年10月



情報科学芸術大学院大学

Institute of Advanced Media Arts and Sciences

# 特色と概要

# 本学の特徴

- 「科学的知性と芸術的感性の融合」が建学の理念、総合的な知を探求し、新しい文化を提案する岐阜県立の大学院大学
- **メディア表現**研究科1専攻、博士前期課程[修士]+博士後期課程[博士]
- アート、デザイン、工学、社会科学など多様な分野の**領域横断を研究実践**

# 科学的知性と芸術的感性の融合とは

- 単に科学と芸術という異なる分野を掛け合わせるという意味ではない
- テクノロジーと社会の関係を踏まえつつ、自ら社会と向き合い、実践により裏付けされた真の価値を深く洞察する研究活動
- 多様な領域を横断しながら、つくることを通じて「**制作の知**」を見出し、新たな文化の創出へ貢献すると同時に社会を先導することを目指す

# 課程

- **博士前期課程：修士（メディア表現）**
  - [在学] 2年間 社会人短期在学コース 1年間
  - [定員] 40人(1学年20人×2学年)
- **博士後期課程：博士（メディア表現）**
  - [在学] 3年間
  - [定員] 9人(1学年3人×3学年)

# 卒業生 (IAMAS Graduate Interviewsより)



ウエヤマトモコ (音と人・ミミ島 代表)



内田聖良  
(コンテンポラリーサーキットベンダー/美術家)



菅野創 + 加藤明洋 + 綿貫岳海  
(《かぞくっち》プロジェクト)



高尾俊介 (クリエイティブコーダー)



平塚弥生  
(フードビジネスコンサルタント, 株式会社Coneru代表)



真鍋大度 (株式会社Rhizomatiks取締役)



三原聡一郎 (アーティスト)



山辺真幸 (データビジュアライズデザイナー)

# これまでの研究 (IAMAS Annualより)



白石覚也 《Inclusion》



西本昂生 《ライフログアポトーシス》



伏田昌弘 《Avatar Jockey》



森田了 《Sar/on rails》



木村佳 《創造的解釈》



水谷珠美 《ゆめの中継；状況の上書き1》



養毛雄吾 《time in space, space in time》



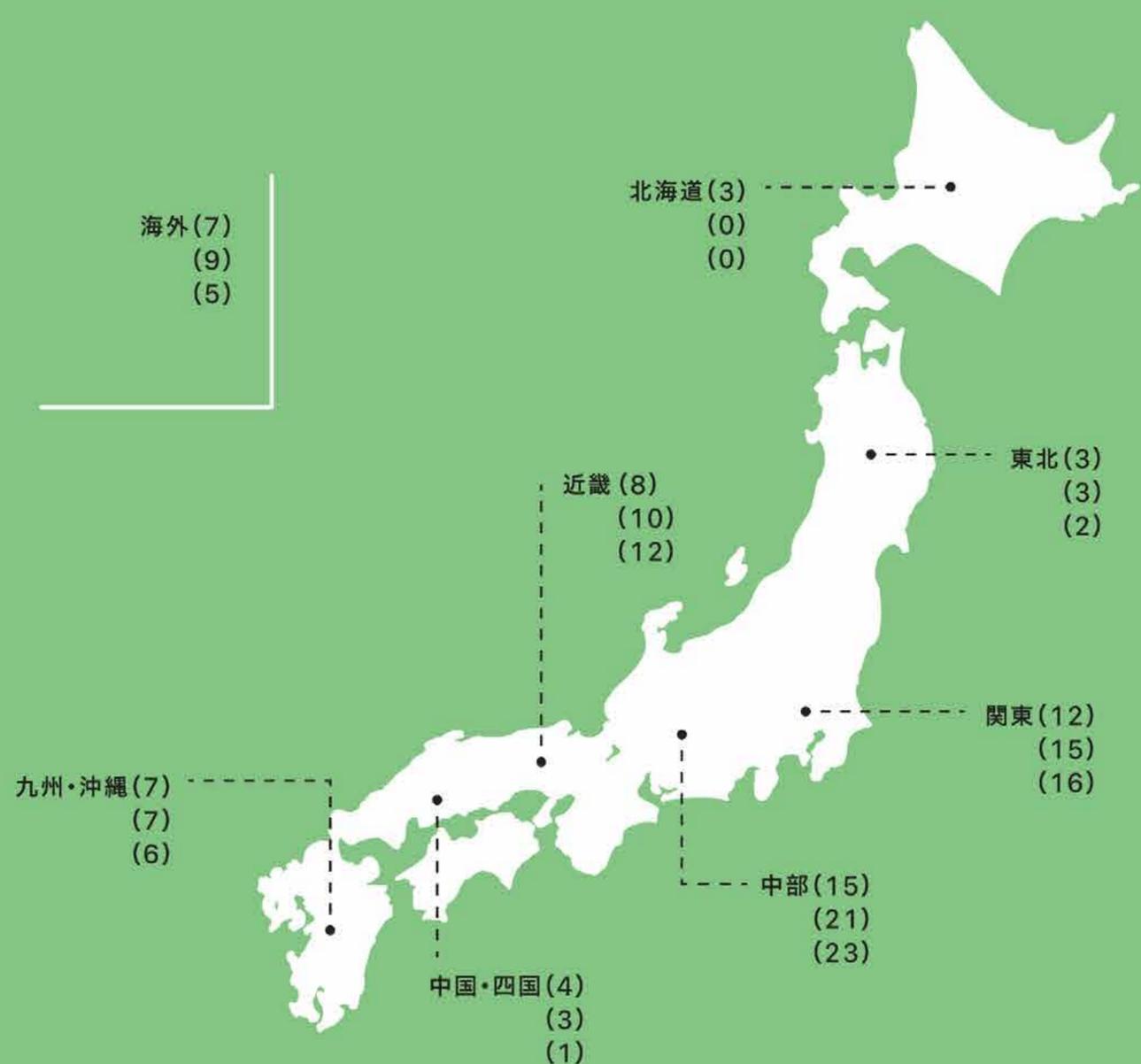
守下誠 《ARama!》

# 学生情報

## 出身地

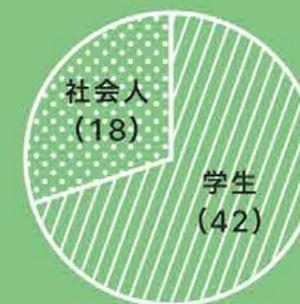
## 入学時

## 年齢



( )内の数字は上から、  
2021、2022、2023年度の人数

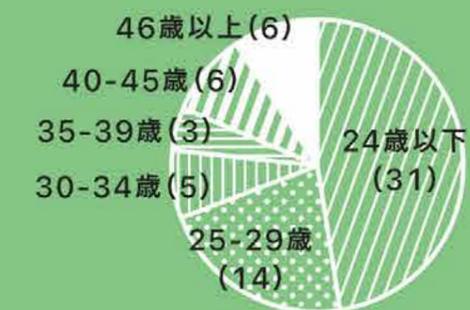
2021年度



2022年度



2023年度



# 卒業生の主な進路

## 就職: 一般企業

株式会社電通  
株式会社博報堂プロダクツ  
チームラボ株式会社  
株式会社アマナ  
株式会社コルグ  
株式会社コンセント  
日本放送協会  
株式会社ワン・トゥー・テン・デザイン  
株式会社乃村工藝社  
genDesign

## 就職: 文化施設

一般財団法人JR東日本文化創造財団  
シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]  
山口情報芸術センター[YCAM]  
NTTインターコミュニケーションセンター[ICC]  
日本科学未来館  
公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団

## 就職: 教育・研究機関

東京藝術大学  
多摩美術大学  
女子美術大学  
秋田公立美術大学  
愛知県立芸術大学  
名古屋市立大学  
愛知淑徳大学  
名古屋文理大学  
京都芸術大学  
京都精華大学

## 起業

株式会社ライゾマティクス  
株式会社GOCCO.  
映像ワークショップ合同会社  
Semitransparent Design  
合同会社byNumbers  
有限会社トリガーデバイス  
株式会社HAUS  
株式会社バックスペースプロダクション  
KAKKO E合同会社  
グレイセル株式会社

## 進学

東京藝術大学大学院映像研究科博士課程  
東京藝術大学大学院音楽学部博士後期課程  
京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程  
大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程  
名古屋市立大学大学院芸術工学研究科博士後期課程  
愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程  
リンツ美術工芸大学博士課程(オーストリア)

# 卒業生の主な進路

## 就職：一般企業

(株)アマナ  
(株)イメージソース  
(株)インフォファーム  
(株)FBC アドサービス  
面白法人カヤック  
キャリア技研(株)  
(株)ケイズデザインラボ  
(株)コルグ  
(株)サイバーエージェント  
(株)新東通信  
(株)ソフトデバイス  
(株)ゼオ  
ソニー(株)  
タック(株)  
大日コンサルタント(株)  
(株)丹青社  
チームラボ(株)  
(株)電通  
(株)桃鶴堂  
(株)二番工房  
日本システム開発(株)  
(株)日本テレビアート  
日本放送協会  
(株)乃村工芸社  
(株)Hakbee Lanka  
(株)博報堂プロダクツ  
(株)バスキュール  
任天堂(株)  
ユカイ工学(株)  
(株)ライゾマティクス  
1→10drive

ANKR DESIGN  
BANZAI CREATIVE  
N and R Foldings Japan  
Noiz Architects  
SK テレコム(韓国)  
SOLIZE engineering  
(株)TAB

## 就職：文化施設

NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]  
京都市芸術文化協会京都芸術センター  
高知県立美術館  
静岡県舞台芸術センター  
せんだいメディアテーク  
シビック・クリエイティブ・ベース東京[CCBT]  
長野県大町市地域おこし協力隊  
日本科学未来館  
都城市立図書館  
山口情報芸術センター[YCAM]

## 就職：教育・研究機関

愛知県立芸術大学  
秋田公立美術大学  
関西学院大学  
京都精華大学  
京都造形芸術大学(現:京都芸術大学)  
神戸芸術工科大学  
女子美術大学  
静岡文化芸術大学  
椋山女学園大学

成安造形大学  
多摩美術大学  
東京藝術大学  
同志社女子大学  
名古屋音楽大学  
名古屋学芸大学  
名古屋芸術大学  
名古屋造形大学  
名古屋文理大学  
広島市立大学  
武蔵野美術大学

## 起業

アライアンス・ポート(株)  
アイティア(株)  
(株)エージーリミテッド  
(同)「E」  
(株)grasp at the air  
グレイセル(株)  
(株)GOCCO.  
セミトランスペアレントデザイン  
(株)ソネル  
(有)トリガーデバイス  
動画まわり  
南原食堂  
(株)HAUS  
(株)バックスペースプロダクション  
(同)マスラックス  
(株)間チルダ  
(株)メタファー  
(株)ライゾマティクス

## 進学

愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程  
大阪大学人間科学研究科博士後期課程  
大阪大学人間科学研究科  
岐阜大学大学院工学研究科博士後期課程  
京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程  
慶應義塾大学大学院後期博士課程  
筑波大学大学院博士課程  
東京藝術大学大学院映像研究科博士課程  
東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程  
名古屋市立大学大学院博士後期課程  
名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程  
リンツ美術工芸大学博士課程(オーストリア)  
ロイヤルカレッジオブアート(イギリス)



# 研究環境

- 夏季・冬季・春季休業期間も含め、24時間使える(一部例外あり)
- 他の国公立大学と同様に学費が安く、寮も完備されており、都市部と比較して生活費も低い
- 学生にPC(MacBook Pro)がAdobe CCなど各種ライセンス付きで貸与されるなど、対面とオンラインの両方に対応できる

# 施設紹介

2つの校舎があるキャンパスは、2014年度からソフトピアジャパンという先進情報産業エリアに移転し、集積企業をはじめ産学連携の新たなイノベーション創出拠点としての役割が期待されています。

学生は、校舎内の施設を原則365日・24時間使用し、研究に取り組むことができます(図書館、イノベーション工房、金工室、木工室、システム管理室の利用は平日の日中のみ)。

## ワークショップ24

学生の研究スペースとなるロフトやプロジェクト室のほか、イノベーション工房や図書館のある施設



## ソフトピアジャパンセンタービル

教員室のほか、さまざまな専門的スタジオやシアター、ギャラリーがある施設



## ロフト

ワークショップ24 | 5F

同じフロアで分野や学年をまたいで交流しながら研究制作を行なう共有スペース。個人研究や制作に必要なPCとアプリケーションの貸与と一人一人専用のスペースを確保し、存分に24時間利用できる環境を備えています。

# 施設紹介



## ギャラリー

センタービル | 3F

作品展示のほか、コンサートやワークショップなどにも使用可能な多目的スペースです。



## シアター

センタービル | 3F

HDプロジェクターを備えたミニシアターです。映像作品や資料を閲覧できます。ミニレクチャー、プレゼンテーションスペースとしても活用できます。



## デザインスタジオ

センタービル | 3F

印刷物の出力・加工を目的とした部屋。カラーレーザープリンタ、大判インクジェットプリンタ、カッティングプロッター、断裁機など、さまざまな制作機器を配備しています。



## ビジュアルスタジオ

センタービル | 3F

白ホリゾントの撮影用スタジオ。画像合成のためのブルーバック撮影が可能です。カメラやモニター、ライト、クレーン、ドリー等の撮影用機材一式を備え、ストロボやディフューザーなど写真撮影にも対応しています。



## プロジェクト室

ワークショップ24 | 5F

プロジェクトの研究拠点として割り当てられるスペース。規模や内容によって部屋が割り振られ、必要な機材が各部屋に導入されています。

# 施設紹介



**図書館** ワークショップ24 | 1F

図書館では、情報、科学、芸術関連の専門書を中心として、現在約4万8千冊の図書や逐次刊行物を所蔵し、ビデオ、DVD等3千点以上の視聴覚資料を視聴することができます。研究資料の検索などのサービスも行っています。



**イノベーション工房** ワークショップ24 | 1F

ディレクター：小林茂  
3Dプリンターやレーザー加工機、CNCなどのデジタル工作機械や、3Dモデリング機器を備えた工房。見たり、触れたり、感じたりできるプロトタイプをつくりながら、アイデアを発展させる拠点です。



# 産業文化研究センター[RCIC]

## 地域連携・産学官連携活動



### イアマスこどもだいがく

「イアマスこどもだいがく」は、IAMASの研究や設備を用いた子ども向け講座で、2017年より大垣市と連携し、毎年開催しています。様々なメディアを使用したユニークな表現体験を通して、子どもたちのテクノロジーを多様に活用する力、ひいては新しい「もの」や「こと」を創造する力の育成を目指しています。7年目となる2023年は、ゴムを束ね、通り抜けることを繰り返し遊ぶことで、計画と実行という、プログラミングの考え方を身体で体感するワークショップ「ゴムの森」を実施しました。ワークショップの企画・運営は、博士前期課程プロジェクト演習「Collaborative Design Research Project」が一環して行いました。



### 子ども向け講座「空宙博ジュニア宇宙博士認定講座」のトータルデザインとAR教材コンテンツ活用に関する研究

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(愛称:空宙博そらはく)では、2022年から子ども向け講座「空宙博ジュニア宇宙博士認定講座」のデザインをIAMASの施設「イノベーション工房」およびIAMAS卒業生のデザイナーと連携して展開しています。今年度は、学習テーマである「人工衛星」をモチーフに、トータルデザインを意識した教材の開発に取り組みました。また、今年度から新たにARを通して学習・鑑賞するシステムを設計し、空宙博と協働で子どもたちが体験的に学習する展示空間のあり方を検討しました。

## 広報・情報アーカイブ活動



### 「Kiosk」をもちいた展示型広報

本学の活動紹介などの広報活動を展示するシステム「Kiosk」を、卒業生のデザインコレクティブ「LAP」と協働してデザインおよび運営を行っています。今年度は「IAMAS OPEN HOUSE 2023」、「IAMAS2024」でスポット展示を行うとともに、文化施設「みんなの森 ぎふメディアコスモス」との共同研究の成果展示にも活用しました。

## 文化活動



### 岐阜おおがきビエンナーレ

「岐阜おおがきビエンナーレ」は、2004年より隔年で行われ、今年度は10回目の節目を迎えました。今年度のテーマ〈方法 / Method〉は、美術家の中ザワヒデキが提唱し、本学教員の松井茂、三輪真弘がメンバーとして2000-2004年に活動した芸術運動「方法」に焦点を当てました。これは、三輪真弘退任記念展としての意味も兼ねた展覧会「IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉-規則・解釈・(反)身体」と連動し、シンポジウム等も合わせて行いました。

# 学費

- **学生（博士前期課程および博士後期課程）**
  - 入学検定料30,000円
  - 入学金：338,000円 226,000円（岐阜県に在住の方）
  - 授業料：年額535,800円

# 奨学金・交換留学制度

- **奨学金制度（博士前期課程対象）**
  - 情報科学芸術大学院大学特別給費生報償金
  - 大垣市情報科学芸術大学院大学報奨金
- **交換留学制度**
  - リンツ美術工芸大学（オーストリア）

# 研究教育の特色

1. プロジェクトを主軸とした社会的実践
2. 多分野の教員によるチーム・ティーチング
3. 専門的かつ総合的知識と技術を習得する充実したカリキュラム

# 本学におけるプロジェクト

- 社会と接続した協働活動により高度な研究成果を目指す研究活動
- 博士前期課程(修士)では教員が立案・運営
- 博士後期課程(博士)では学生が立案して教員の指導の下で運営

# プロジェクト実習(2024年度博士前期課程の場合)



体験拡張表現プロジェクト



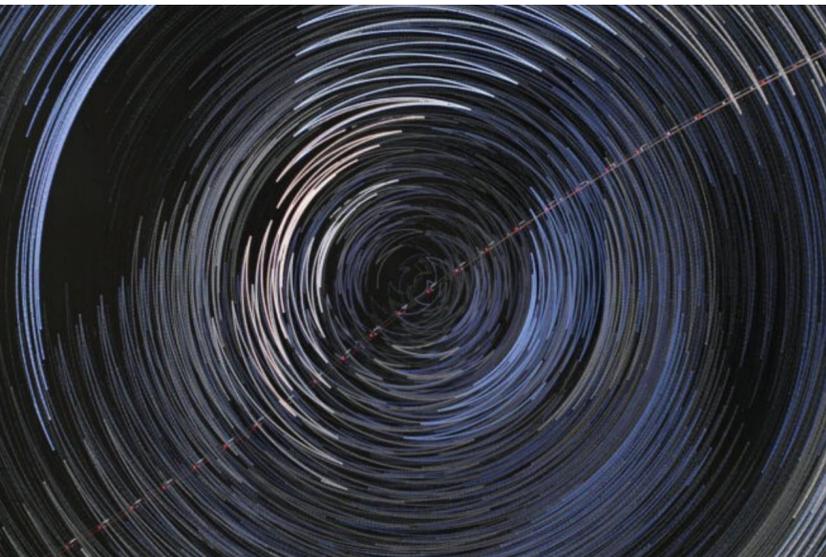
福祉の技術プロジェクト3



場所・感覚・メディア



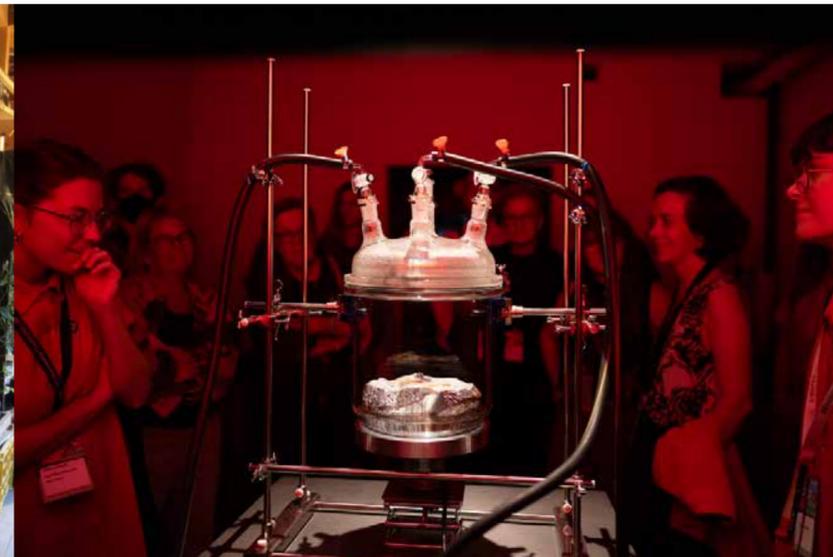
Collaborative Design Research Project



運動体設計



The Art of Listening



Extreme Biologies



テクノロジーの〈解釈学〉

# 本学におけるチーム・ティーチング

1. 研究室制ではないため、研究室の壁がない
2. 3名の教員（主指導教員：1名＋副指導教員：2名）で中心となるチームを構成
3. 中心となるチーム以外の教員全員もチームとなって指導

# 教員紹介



学長・教授

**鈴木 宣也**

研究分野：インタラクティブデザイン



研究科長・教授

**赤松 正行**

研究分野：クリティカル・サイクリング



産業文化研究センター長・教授

**赤羽 亨**

研究分野：インタラクティブデザイン



図書館長・教授

**松井 茂**

研究分野：詩、映像メディア学



教授

**金山 智子**

研究分野：メディア・コミュニケーション



教授

**クワクボリョウタ**

研究分野：メディアアート



教授

**小林 茂**

研究分野：テクノロジーの哲学



教授

**小林 孝浩**

研究分野：情報システム工学

# 教員紹介



教授

**小林 昌廣**

研究分野：表象文化論



教授

**平林 真実**

研究分野：コミュニケーションシステム



教授

**前田 真二郎**

研究分野：映像表現



教授

**前林 明次**

研究分野：メディア・アート



教授

**山田 晃嗣**

研究分野：情報工学



教授

**吉田 茂樹**

研究分野：技術の社会利用



准教授

**大久保 美紀**

研究分野：美学



准教授

**菅 実花**

研究分野：現代美術

# 教員紹介



准教授

**瀬川 晃**

研究分野：グラフィックデザイン



准教授

**飛谷 謙介**

研究分野：情報工学



准教授

**ホアン・マヌエル・カストロ**

研究分野：メディア・アート

## 教員紹介(特別非常勤講師)

会田大也(山口情報芸術センター[YCAM]学芸普及課長)

安藤泰彦(現代美術作家)

木村悟之(映像作家、フォトグラファー、映像ワークショップ合同会社)

小鷹研理(名古屋市立大学 芸術工学研究科 准教授)

四方幸子(キュレーター、美術評論家連盟 会長、対話と創造の森アーティストティックディレクター、多摩美術大学客員教授、東京造形大学客員教授)

立石祥子(中部大学 人文学部コミュニケーション学科 助教)

原島大輔(早稲田大学次世代ロボット研究機構 研究助手)

平井靖史(慶應義塾大学文学部教授)

平塚弥生(フードビジネスコンサルタント、株式会社 Coneru 代表)

廣瀬周士(フリーランス、sketch on主宰)

宮下芳明(明治大学 総合数理学部 教授)

三輪眞弘(作曲家、京都芸術大学文明哲学研究所 教授)

椋木 新(エンジニア、ローランド ディー・ジー・株式会社)

# 博士前期課程(修士)

# 修了要件

- 2年間在学、特例で1年間在学
- 30単位取得
- 修士作品と修士論文、または修士論文のみ

# 修士作品

- 展示や上演の形式によって審査される作品
- 研究に伴う制作物

# 修士論文

- **修士論文のみの場合**
  - 概要1ページ(日本語・英語)
  - 本文50ページ程度
- **修士作品+修士論文の場合**
  - 概要1ページ(日本語・英語)
  - 本文25ページ程度
- **1ページの目安**
  - A4用紙、和文1,000文字、英文500ワード

# 科目構成

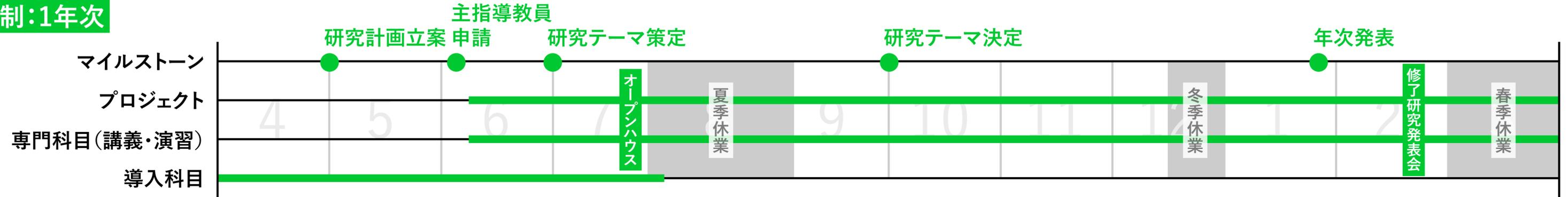
導入科目 (演習+講義) すべて必修	総合科目 (講義) 2科目以上選択	専門科目 (講義) 3科目以上選択	制作演習科目 (演習) 制作基礎必修+1科目以上選択	プロジェクト科目 (実習) 1年時必修	特別研究科目 (ゼミ・個別指導) すべて必修
メディア表現基礎1 (導入) ●	総合学1 (総論) ・ 2 (展開) ・ 3 (各論)	メディア表現特論A (環境)	制作基礎 ●	プロジェクト実習 1A/1Ai ●	特別研究 1A/1Ai ●
メディア表現基礎2 (理解) ●		メディア表現特論B (応答)	制作演習A (設計)	プロジェクト実習 1B/1Bi ●	特別研究 1B/1Bi ●
メディア表現基礎3 (制作) ●		メディア表現特論C (概念)	制作演習B (技術)	プロジェクト実習 2A ▽	プロジェクト実習 2A ●▽
メディア表現基礎4 (計画) ●		メディア表現特論D (造形)	制作演習C (造形)	プロジェクト実習 2B ▽	特プロ弱と実習 2B ●▽
		メディア表現特論E (設計)			

●…必修科目 / ▽…2年次科目

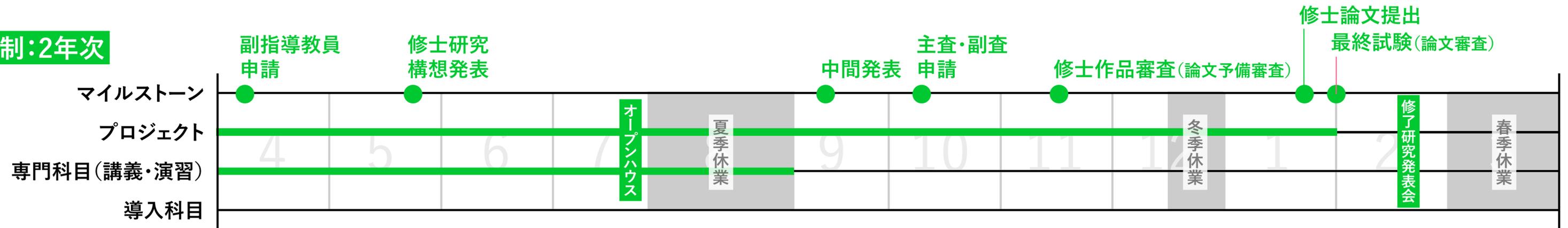
# 博士前期課程(修士)スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

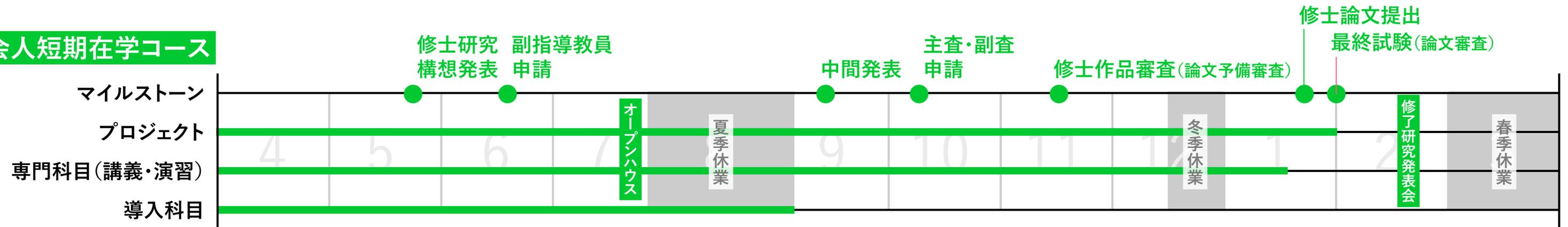
## 2年制:1年次



## 2年制:2年次



## 社会人短期在学コース



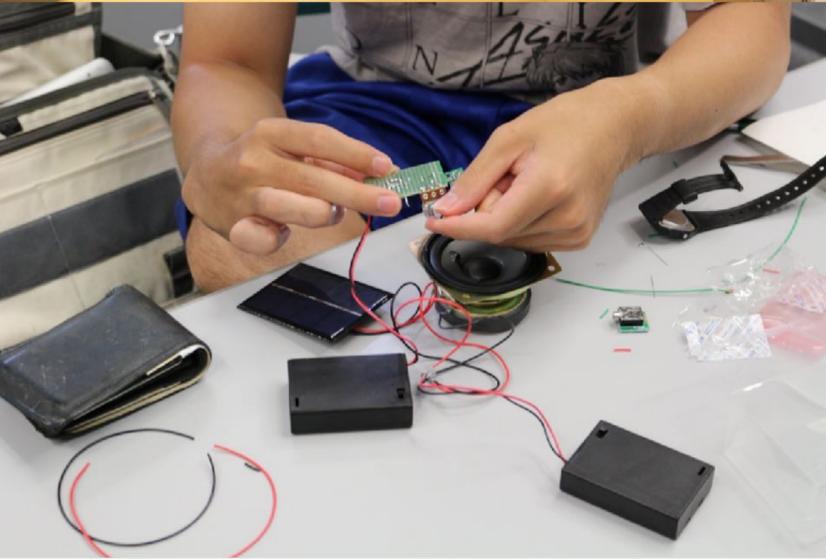
受験前: 研究テーマ・主指導教員策定



# 講義・特別研究



# 制作演習



# 博士後期課程(博士)

# 修了要件

- 3年間在学
- 16単位取得
- 博士論文提出資格
- 博士論文

# 博士論文提出資格

- 査読付き論文2編＋国際会議発表1回
- 査読付き論文1編＋コンテスト入賞1回＋国際会議発表1回
- 単著出版1編＋国際会議発表1回
- ユニークな研究業績＋国際会議発表1回

※作品は資格対象ではありません

# ディプロマ・ポリシー

1. 専門性を有しながら科学的知性と芸術的感性を融合し、自立した教育研究者・芸術家・実務家として、自立して研究活動を推進する研究遂行力を身に付けたか。
2. 研究領域によらず様々な分野を専門とする人々へ積極的に関わり合い、領域横断しながら、その交流の中から生み出される「新しい知」の在り方を身につけ、プロジェクトの企画から実践まで遂行することができたか。
3. 高い倫理性と強い責任感を意識し、研究が現代社会の諸課題に対する応答としての成果を得、メディア表現に関する研究実践から導かれた理論化・体系化の成果を論文へまとめ、それら成果を広く社会へ発信することができたか。

# 科目構成

導入科目 (講義) <u>メディア表現研究は必修</u>	プロジェクト科目 (実習) <u>すべて必修</u>	特別科目研究 (ゼミ・個別指導) <u>すべて必修</u>
メディア表現研究I ●	プロジェクト研究I ●	メディア表現特別研究I ●
メディア表現研究II ●	プロジェクト研究II ●▽	メディア表現特別研究II ●▽
知的財産権特論		メディア表現特別研究III ●◇

●…必修科目 / ▽…2年次科目 / ◇…3年次科目

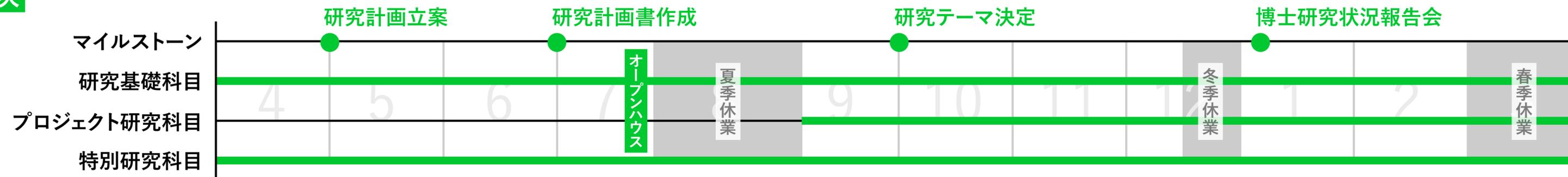
# プロジェクト研究I・II

- 学生が立案し、主指導教員の指導の下で運営
- プロジェクト研究Iの期間に研究計画を提出し、審査を経て学内研究予算(過去の例では最高30万円)を獲得し、プロジェクト研究IIの期間に運用
- 博士前期課程学生の履修対象ではない

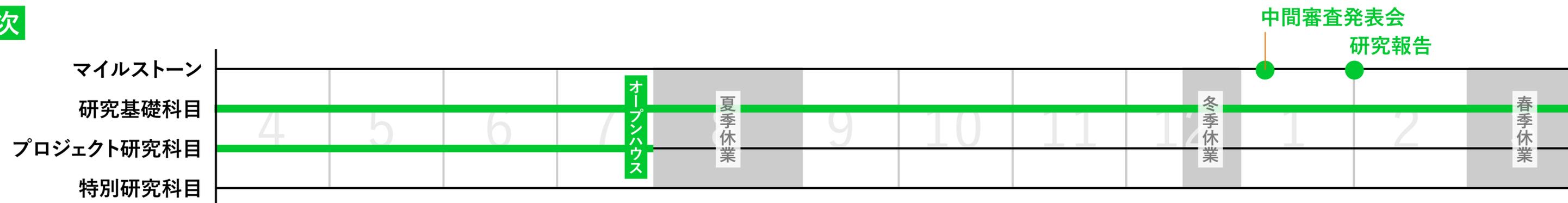
# 博士後期課程(博士)スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

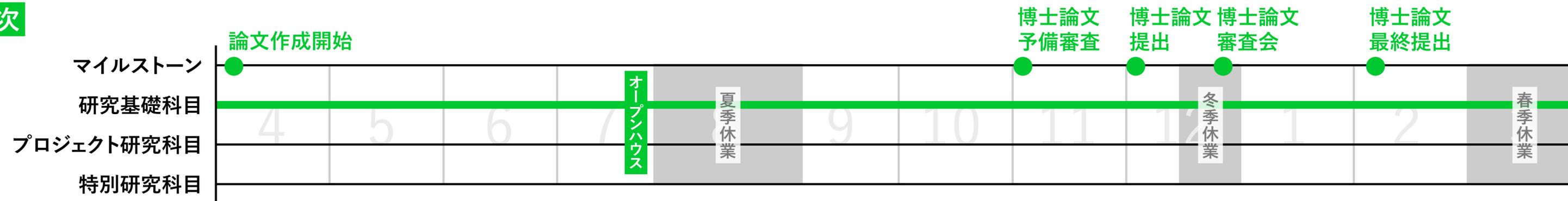
## 1年次



## 2年次



## 3年次



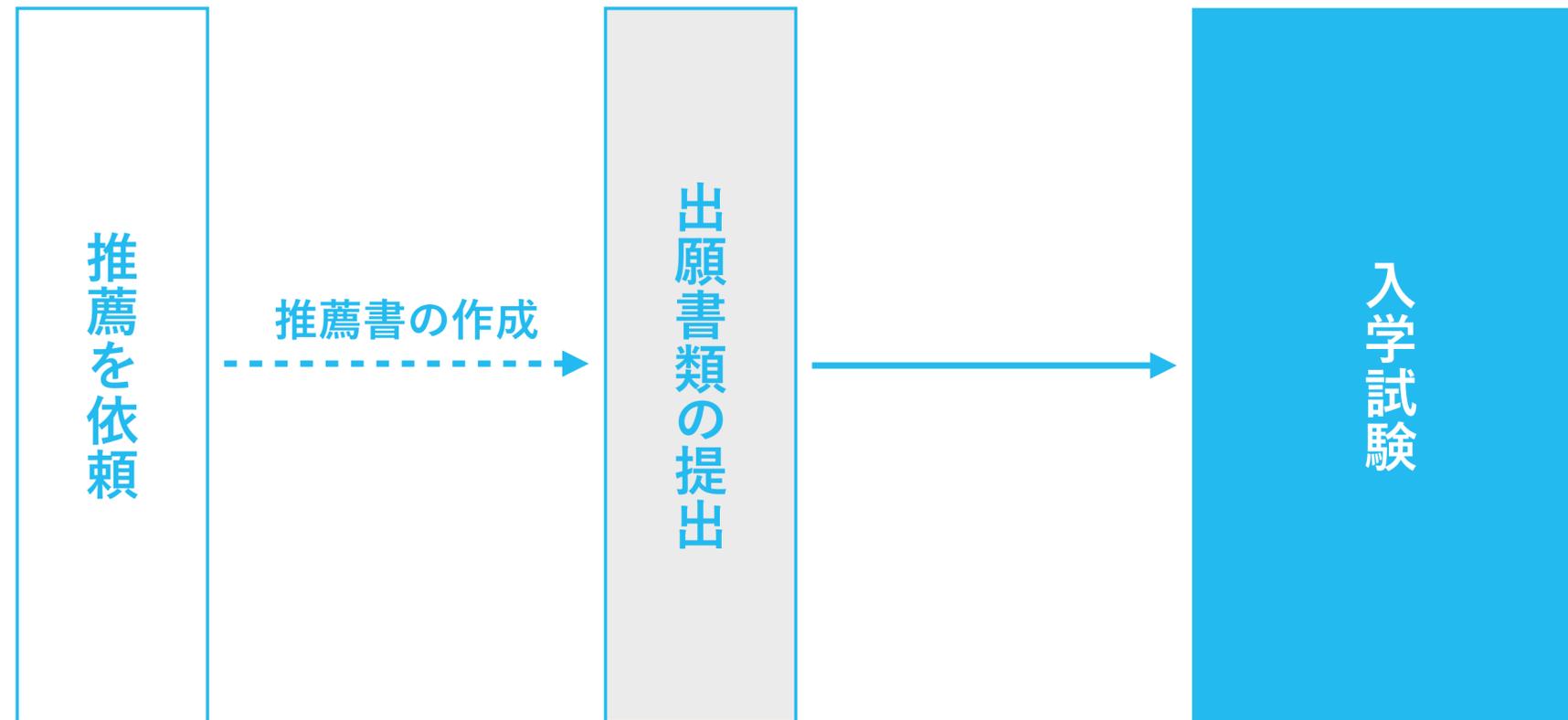
# 博士前期課程（修士）入試

# 博士前期課程(修士)入試について

- **2年制コース**
  - 推薦入試
  - 一般入試
- **1年制コース**
  - 社会人短期在学コース入試

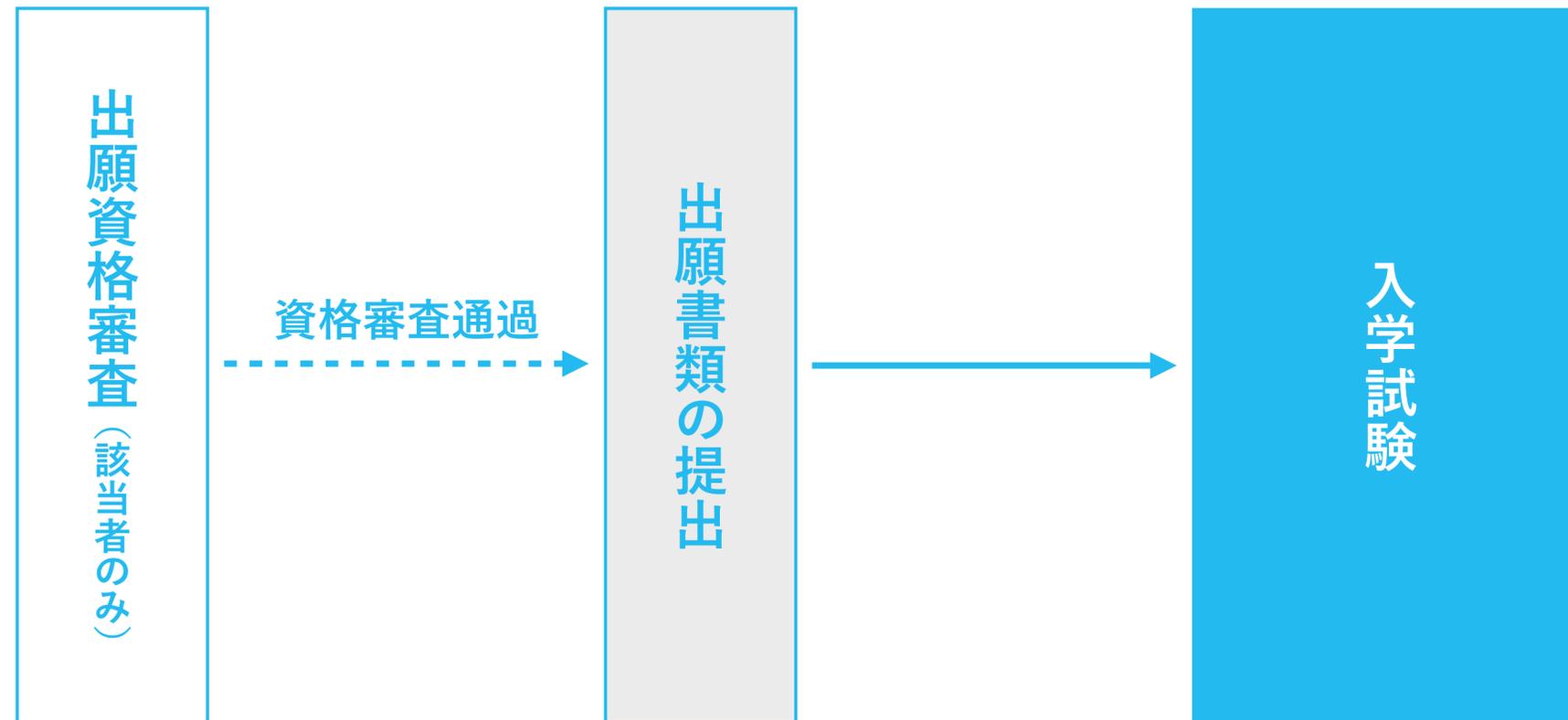
## 推薦入試(6月)

1. 書類審査
2. 面接試験(プレゼン:10分+質疑応答:20分)



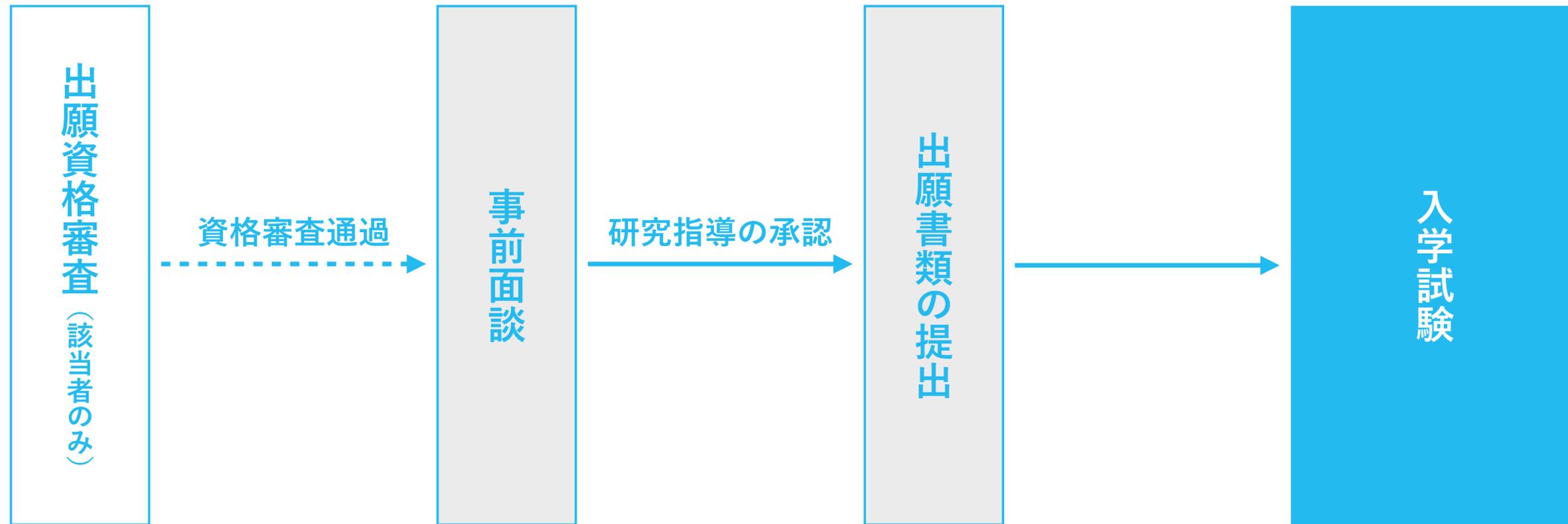
# 一般入試(10・2月)

1. 書類審査
2. 面接試験(プレゼン:5分+質疑応答:20分)



# 社会人短期在学コース入試(6・10・2月)

1. 書類審査
2. 面接試験(プレゼン:10分+質疑応答:20分)



※10・2月入試のみ

# 博士前期課程入試：必要な書類

- 入学願書
- 選考資料
- 推薦書・入学確約書(推薦入試のみ)
- 研究指導承認書(社会人短期在学コース入試のみ)
- 語学能力の成績通知書(該当者のみ)

※詳細は募集要項を参照してください

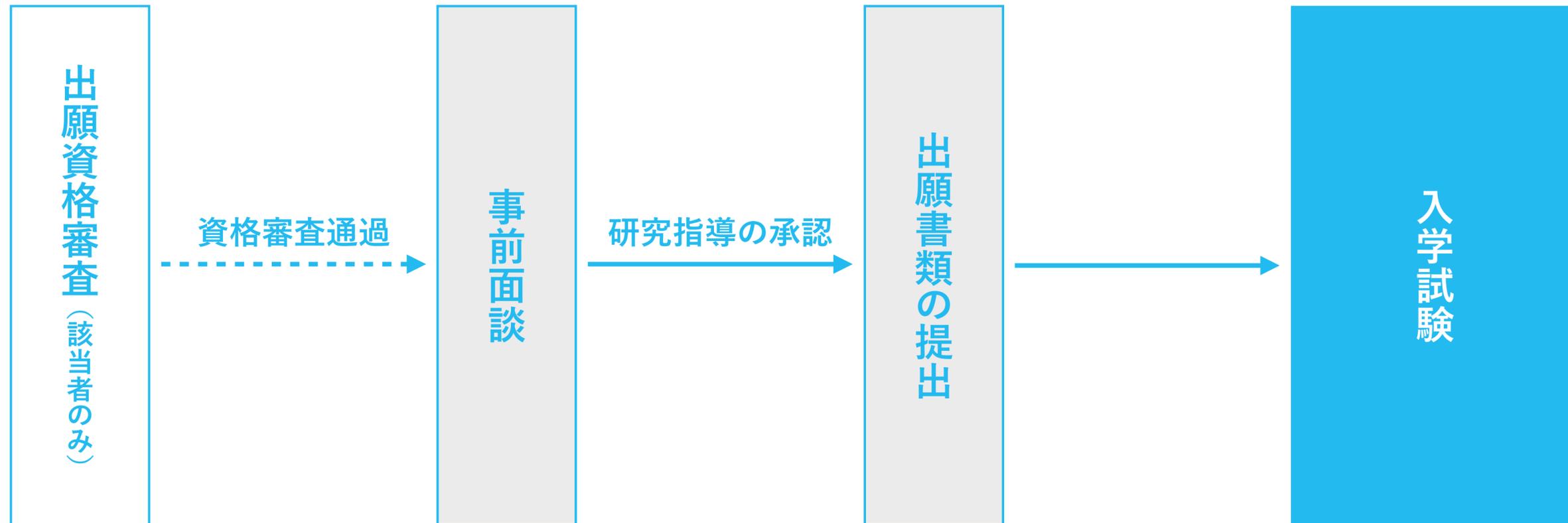
# 日本語を母語としない人について

- **日本語で論文を書くことを予定している場合**
  - 日本語能力試験の成績通知書(N1) または  
日本留学試験の成績通知書(読解・聴解・聴読解:280点以上、記述:35点以上)
- **英語で論文を書くことを予定している場合**
  - 日本語能力試験の成績通知書(N2以上) または  
日本留学試験の成績通知書(読解・聴解・聴読解:240点以上、記述30点以上)
  - TOEFL iBTの成績通知書(90点以上) または  
IELTSの成績通知書(6.5以上)

# 博士後期課程(博士)入試

# 博士後期課程入試(6・10・2月)

1. 書類審査
2. 面接審査(プレゼンテーション:15分間+口頭試問:30分間)



※10・2月入試のみ

# 博士後期課程入試：必要な書類

- 入学願書
- 志望動機および研究計画
- 審査選考資料
- 研究指導承認書
- TOEFL iBTの試験結果
- 日本語能力の成績通知書(私費外国人留学生で日本語を母語としない場合)

※詳細は募集要項を参照してください

# 資料：全般

- **大学案内パンフレット**
  - <https://www.iamas.ac.jp/pamphlet/>
- **IAMAS Annual**
  - <https://www.iamas.ac.jp/annual/>
- **修士論文の公開(2015年度以降修了者・要旨のみ)**
  - [https://www.iamas.ac.jp/master\\_repository/](https://www.iamas.ac.jp/master_repository/)
- **情報科学芸術大学院大学紀要**
  - <https://www.iamas.ac.jp/iamasbooks/category/journal/>

# 資料：活動全般について

- **IAMAS Channel**
  - <https://www.youtube.com/user/IAMASchannel/>
- **卒業生インタビュー**
  - <https://www.iamas.ac.jp/interview/>
- **産業文化研究センター[RCIC]**
  - <https://www.iamas.ac.jp/rcic/>



<https://www.iamas.ac.jp/>



情報科学芸術大学院大学

Institute of Advanced Media Arts and Sciences